データ管理 データ更新

ダウンロードする

工事名表の をクリック、または、データ管理の［データを更新］－［ダウンロード］メニューより、最新のシステム、データの更新が行えます。

本システムがインストールされているパソコンで、インターネットに接続できることが必要です。

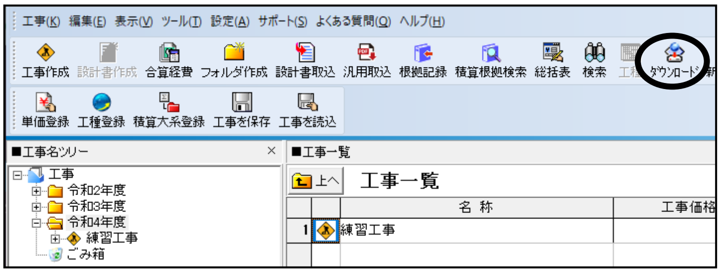
ネットワーク版クライアントをご利用の場合は、工事名表画面よりダウンロード機能を利用して下さい。

クライアントからはシステムとExcel帳票のみダウンロードできます。

１．ダウンロードを選択する

「工事名表」画面にて、ツールバーの

をクリックします。



MEMO

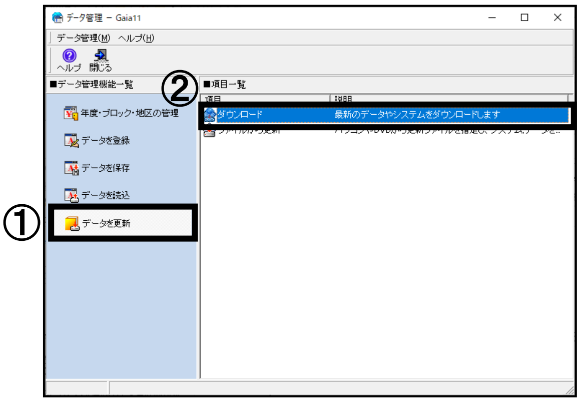
メニューバーの［サポート］－［ダウンロード］でも同様です。

●「データ管理」画面からダウンロードする

「データ管理」画面の［データを更新］－［ダウンロード］よりダウンロードすることもできます。

①「データ管理」画面左側の「データ管理機能一覧」より、［データを更新］をクリックします。

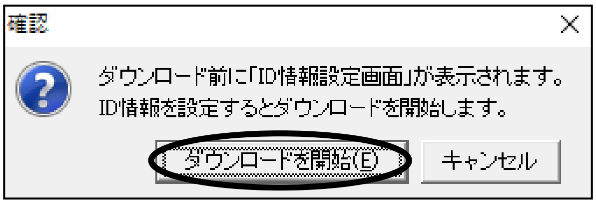
②画面右側の「項目一覧」より、「ダウンロード」をダブルクリックします。



２． ID 情報設定を行う（インストール時に ID 情報の設定を行っていない場合）

（２回目以降ダウンロードを行う場合･･･手順３へ）

①初めてダウンロードを行う場合、
右図のメッセージが表示されます。

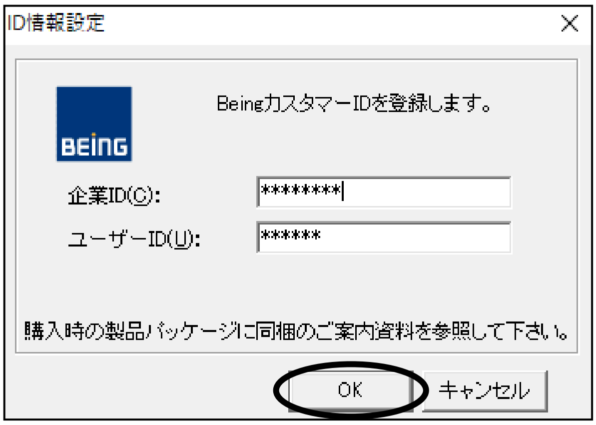


インストール時に設定済みの場合は、
表示されません。

［ダウンロードを開始］をクリック
します。

②「ID 情報設定」画面が表示されます。

「企業 ID」、「ユーザーID」を入力し、
［ＯＫ］をクリックします。

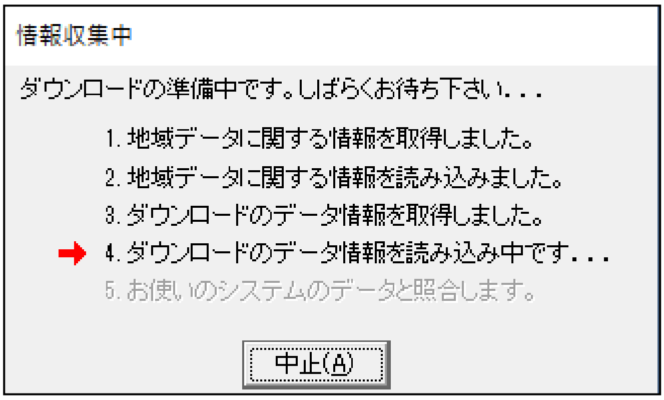


企業 ID、ユーザーID については、
ご購入時にお渡ししております「Being
カスタマーID のご案内」にて、ご確認
下さい。

「工事名表」画面にて、メニューバーの［サポート］－［ダウンロード］－［ID 設定］
をクリックでも、「ID 情報設定」画面が表示されます。

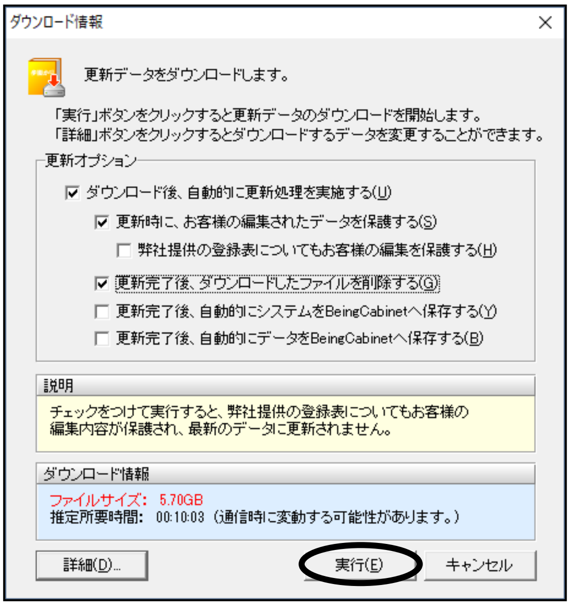
３． ダウンロードを実行する

右図のメッセージが表示されます。
しばらくお待ち下さい。



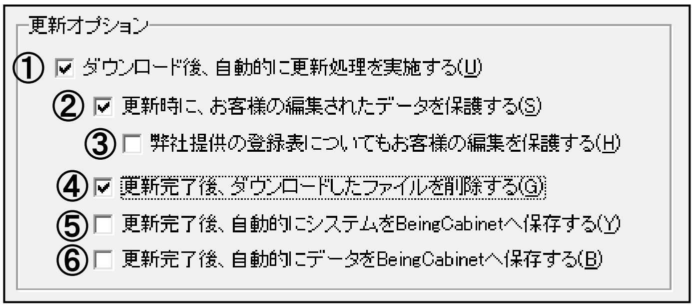
「ダウンロード情報」画面が表示されます。

「更新オプション」を設定し、[実行] を
クリックします。



更新を実施される場合、起動中の Gaia アプリケーションは終了します。
積算中の工事などがある場合は、あらかじめ終了して下さい。

● 更新オプション



①「ダウンロード後、自動的に更新処理を実施する」
「ダウンロード後、自動的に更新処理を実施する」にチェックを付けることで、ダウンロード後、自動でデータ更新処理を行います。
データ更新を行わない場合はチェックを外して下さい。

②「更新時に、お客様の編集されたデータを保護する」
「更新時に、お客様の編集されたデータを保護する」にチェックを付けることで、お客様が登録・編集したデータを残しておくことができます。
この項目にチェックを付けた場合、年度を追加する場合と、年度を上書きする場合とで保護される内容が異なります。

③「弊社提供の登録表についてもお客様の編集を保護する
「弊社提供の登録表についてもお客様の編集を保護する」にチェックを付けることで、弊社提供の登録表についてもお客様の編集内容が保護され、最新のデータに更新されません。

④「更新完了後、ダウンロードしたファイルを削除する」
ダウンロードを行うと、データインストールフォルダ先の「Download」フォルダに保存されます。
「更新完了後、ダウンロードしたファイルを削除する」にチェックを付けることで、データ更新を行った後で、ダウンロードしたファイルを自動で削除することができます。

● 更新オプション

⑤「更新完了後、自動的にシステムを BeingCabinet へ保存する」
「更新完了後、自動的にシステムを BeingCabinet へ保存する」にチェックを付けることで、データ更新を行った後で、更新されたシステムを自動で BeingCabinet に保存することができます。(※BeingCabinet を使用しない場合、選択はできません。)

④「更新完了後、自動的にデータを BeingCabinet へ保存する」
「更新完了後、自動的にデータを BeingCabinet へ保存する」にチェックを付けることで、データ更新を行った後で、更新されたデータを自動で BeingCabinet に保存することができます。(※BeingCabinet を使用しない場合、選択はできません。)
（※このチェックを付けると、自動的に「更新完了後、自動的にシステムを BeingCabinet へ保存する」が有効になります。）

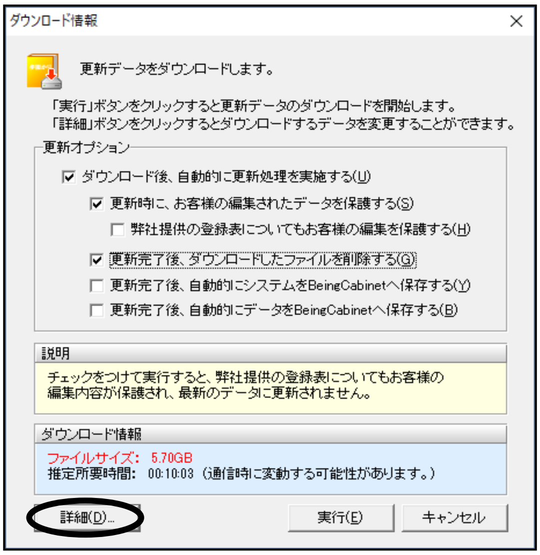
アップデートするデータの選択は、システムが自動的に検知して最適なチェックを行いますので、通常はそのまま「実行」をクリックして下さい。

「ダウンロード情報」画面左下の［詳細］をクリックすると、ダウンロードするデータを選択することができます。また、「工事名表」画面にて、メニューバーの［設定］－［対象地域設定］をクリックし、対象地域を選択することで、「ダウンロード－詳細設定」画面に表示する地域を制限することができます。

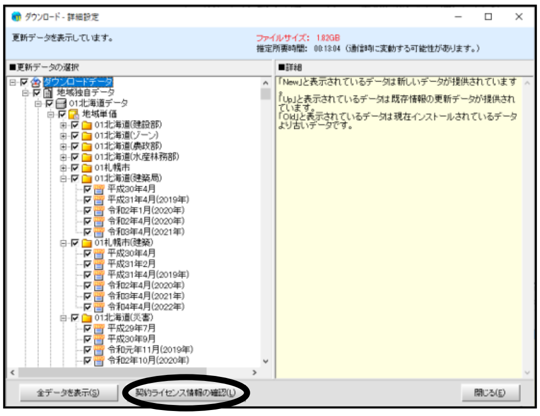
「ダウンロード－詳細設定」画面左下の［全データを表示］をクリックすると、「更新済みのデータのチェックは無効になります。よろしいですか？」のメッセージが表示されます。［はい］をクリックすると、「更新データの選択」ツリー内で設定したチェックは無効になり、全データが表示されます。

●契約済みの地域データを確認するには･･･

①「ダウンロード情報」画面にて、
［詳細］をクリックします。

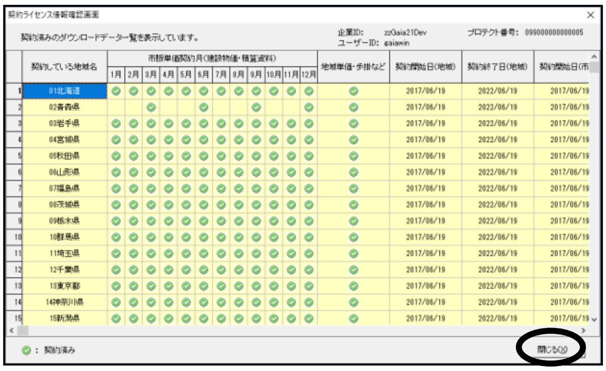


②「ダウンロードー詳細設定」画面にて、
［契約ライセンス情報の確認］を
クリックします。



③「契約ライセンス情報確認画面」が
表示されます。
契約済みの地域データには、✅が
付いてます。

確認が終りましたら、［閉じる］を
クリックします。



ダウンロードが開始されます。

<<更新オプションで「ダウンロード後、自動的に更新処理を実施する」に
チェックを付けた場合>>

ダウンロード後に自動でデータ更新が開始されます。
しばらくお待ち下さい。

<<更新オプションで「更新完了後、自動的に BeingCabinet へ保存する」に
チェックを付けた場合>>

データ更新完了後に自動で BeingCabinet に保存されます。
しばらくお待ち下さい。

４．ダウンロードを完了する

<<更新オプションで「ダウンロード後、自動的に更新処理を実施する」に
チェックを付けない場合>>

右のようなメッセージが表示されると
ダウンロードは完了です。

ダウンロードファイルが保存された
場所とファイル名を確認し、[ＯＫ] を
クリックします。

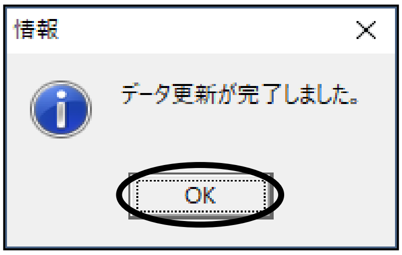
MEMO

データ更新をする際は、「データ管理」－「データを更新」－「ファイルから更新」より、
保存したファイル（GData.toc）指定し、データの読込を行って下さい。
詳細については、「ダウンロードデータを読み込む」をご参照下さい。

<<更新オプションで「ダウンロード後、自動的に更新処理を実施する」に
チェックを付けた場合>>

右のメッセージが表示されるとデータ更新は
完了です。

[ＯＫ] をクリックして下さい。



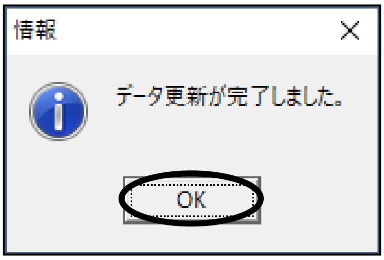
<<更新オプションで「更新完了後、自動的にシステムを BeingCabinet へ保存する」あるいは
「更新完了後、自動的にデータを BeingCabinet へ保存する」にチェックを付けた場合>>

①BeingCabinet への更新データの保存が完了しました。
右のメッセージが表示されます。

［ＯＫ］をクリックします。

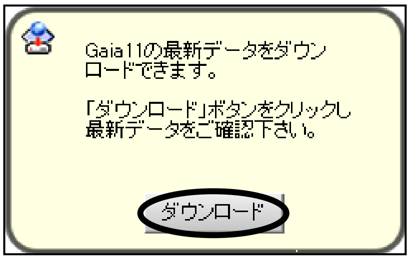
②［ＯＫ］をクリックすると右のメッセージが
表示されます。
このメッセージが表示されましたらデータ更新は
完了です。

［ＯＫ］をクリックして下さい。



●Gaia 起動時に、「Gaia の最新データをダウンロードできます。～」の
メッセージが表示される場合

２回目以降ダウンロードを行う場合で、
ビーイングのダウンロードサーバーに
Gaia の更新データがアップされている場合、
ダウンロードを促すお知らせメッセージが表示
されます。



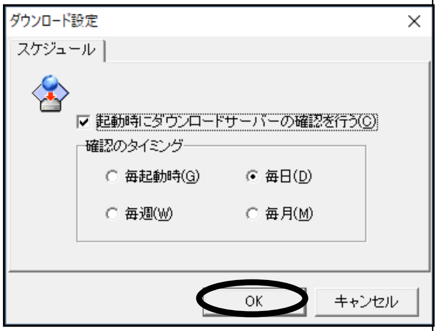
［ダウンロード］をクリックし、最新データを
ご確認いただき、必要であればダウンロード・データ更新を行って下さい。
（「工事名表」画面にて、ツールバーの［ダウンロード］をクリックでも同様です。）

＜お知らせメッセージの表示設定＞

①「工事名表」画面にて、メニューバーの［サポート］
－［ダウンロード］－［スケジュール設定］を
クリックします。

②「ダウンロード設定」画面が表示されます。
起動時にダウンロードサーバーの確認を行う
かどうかの設定、確認のタイミングの設定を
行うことができます。

設定が終わりましたら［ＯＫ］をクリックします。



データ管理

データ更新

ダウンロードデータを読み込む

ダウンロードデータを保存したフォルダ内の（GData.Toc）ファイルを読み込み、データの更新を行います。

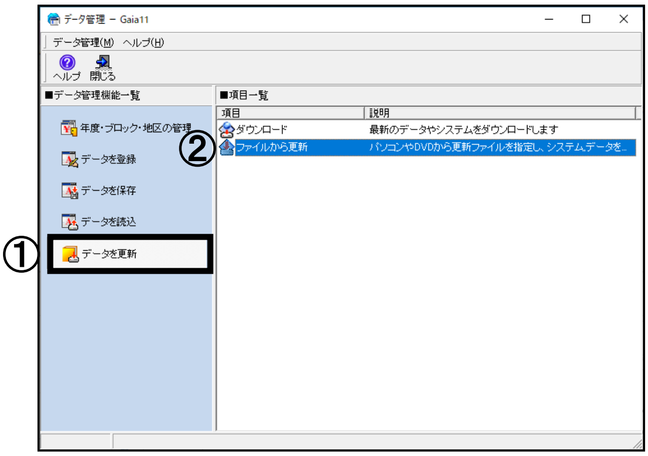
また、システムのバージョンアップが必要な場合は、同時にシステム更新も行われます。

⚠ネットワーク版クライアントをご利用の場合は、データ管理からデータ更新することはできません。工事名表よりダウンロード機能を利用し、手順４～の手順に従ってデータ更新して下さい。

１．ファイルから更新を選択する

①「データ管理」画面左側の「データ管理機能一覧」より、［データを更新］をクリックします。

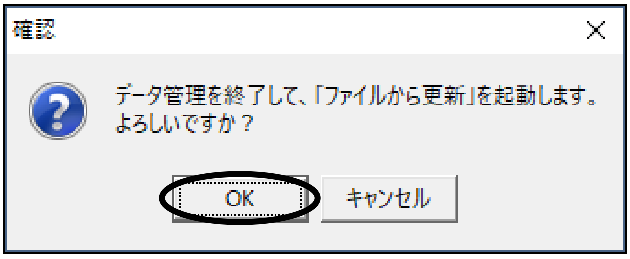
②画面右側の「項目一覧」より、「ファイルから更新」をダブルクリックします。



２．「ファイルから更新」を起動する

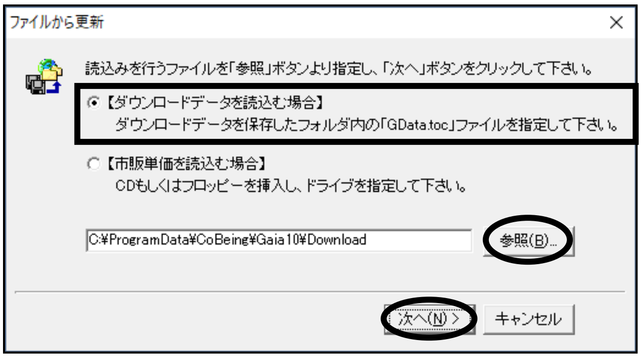
右図の確認メッセージが表示されます。

［ＯＫ］をクリックします。



３．「データ更新ツール」を起動する

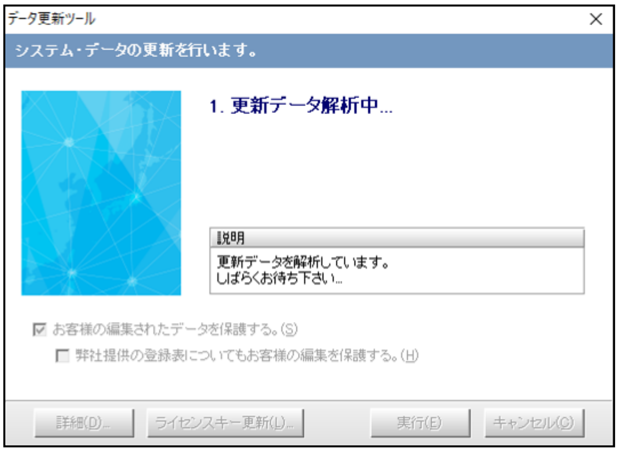
「ファイルから更新」画面にて、
［ダウンロードデータを読込む場合］を
選択します。
[参照]をクリックし、ダウンロードデータを
保存したフォルダ内の（GData.Toc）ファイルを
指定し、[次へ］をクリックします。



MEMO

「ファイルから更新」画面にて、
［参照］ボタンをクリックすると、
「フォルダの参照」画面が表示されます。
読み込むデータ（GData.Toc）を選択し、
［ＯＫ］をクリックします。

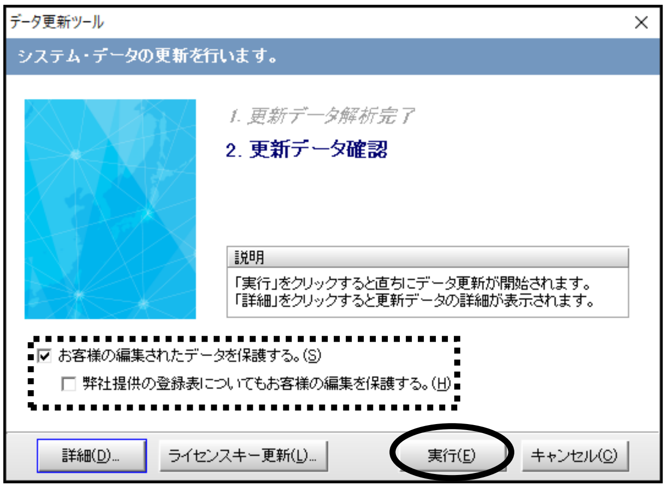
「データ更新ツール」が起動します。



4．データ更新を実行する

「データ更新ツール」画面が表示されます。

［実行］をクリックします。



MEMO
アップデートするデータの選択は、システムが自動的に検知して最適なチェックを行いますので、通常はそのまま「実行」をクリックして下さい。

Gaia サーバーおよび Gaia スタンドアロン版にデータ更新を行う場合には、「お客様の編集されたデータを保護する」の選択が表示されます。※Gaia クライアントを更新する場合は表示されません。

お客様にて編集されたデータを保護する場合は、必ず画面左下の「お客様の編集されたデータを保護する」にチェックを入れた状態でデータ更新を実行して下さい。
詳細については、「「更新時にお客様の編集されたデータを保護する」について」をご参照下さい。

MEMO
●詳細設定について
データ更新を行う際、必要に応じて、「データ更新ツール」画面左下の［詳細］をクリックし、詳細設定を行うことができます。
詳しくは、「●更新データの詳細設定画面について」をご参照下さい。

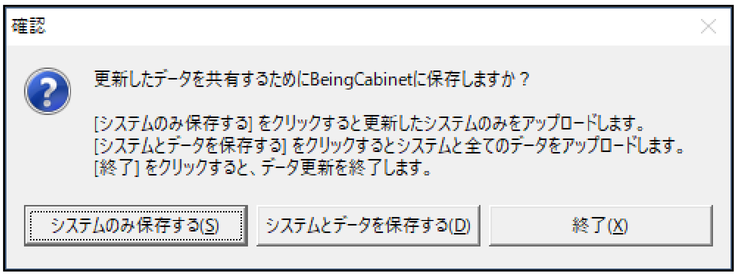
データの更新が開始されます。

更新するデータの量によっては、時間がかかる場合があります。

５．データ更新が完了する

■BeingCabinet を使用する設定の場合

右図のメッセージが表示されます。



データ共有のため更新したデータを BeingCabinet に保存したい場合は、［システムのみ保存する］または［システムとデータを保存する］をクリックして下さい。

［システムのみ保存する］または［システムとデータを保存する］をクリックすると、自動的に BeingCabinet へデータを保存します。
（データの量によって時間がかかる場合があります）

保存しない場合は［終了］をクリックします。
「データ更新」画面に戻ります。

後述の、「■BeingCabinet を使用しない設定の場合」へお進み下さい。

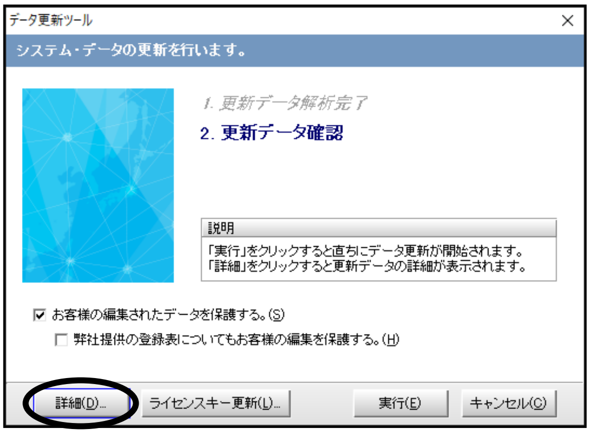
■BeingCabinet を使用しない設定の場合

更新処理が正常に完了すると、右図の画面が表示されます。

［終了］をクリックします。

●更新データの詳細設定画面について

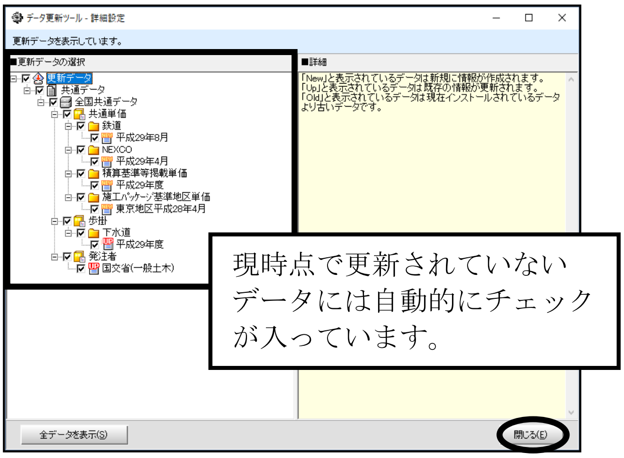
①「データ更新ツール」画面左下の［詳細］をクリックします。



②「データ更新ツールー詳細設定」画面が表示されます。

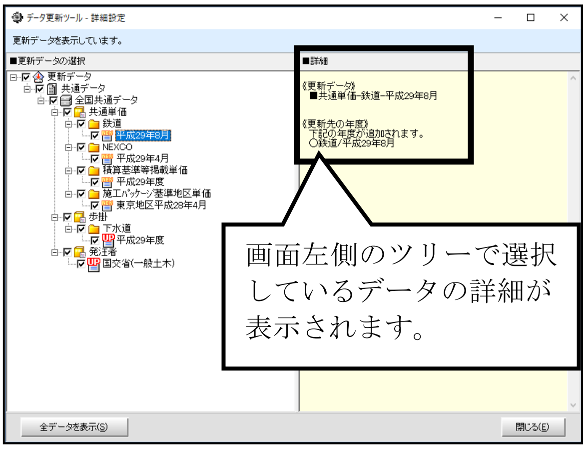
画面左側の「更新データの選択」ツリーより、更新が必要なデータを選択します。

③選択できましたら、［閉じる］をクリックし、「データ更新ツール」画面に戻ります。



●データ内容の確認方法

画面左側のツリーでデータの年度名称をクリックすると、画面右側の「詳細」欄に選択したデータの詳細が表示されます。



●アイコンの表示について

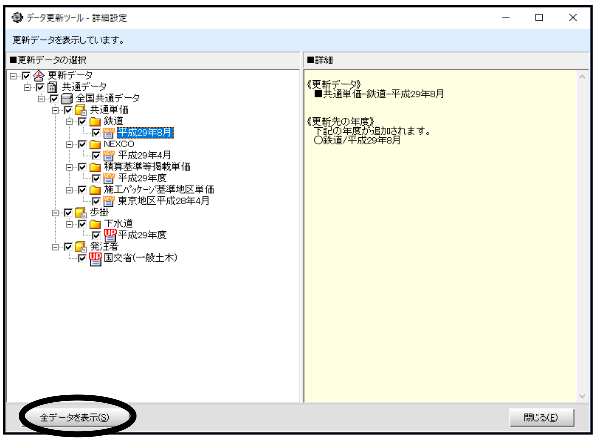
…新規のデータです。
更新すると、新規に年度が追加されます。

…既存のデータ項目で、
更新されているデータです。
更新を実行すると、既存のデータを上書き更新します。

…インストールされていない古いデータです。
全データを表示している場合のみ表示されます。

●「未更新データのみを表示」と「全データを表示」

「データ更新ツール」画面左下の［詳細］をクリックすると、右図の未更新データ（更新対象データ）のみの画面が表示されます。



《全データを表示》

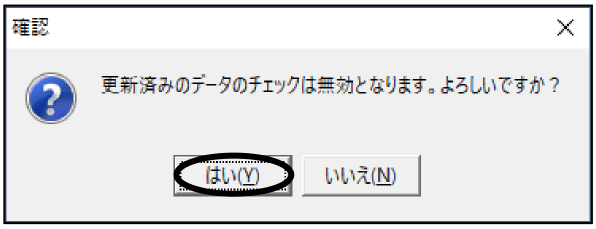
既存のデータを含め、全データが表示されます。

・**表示方法**

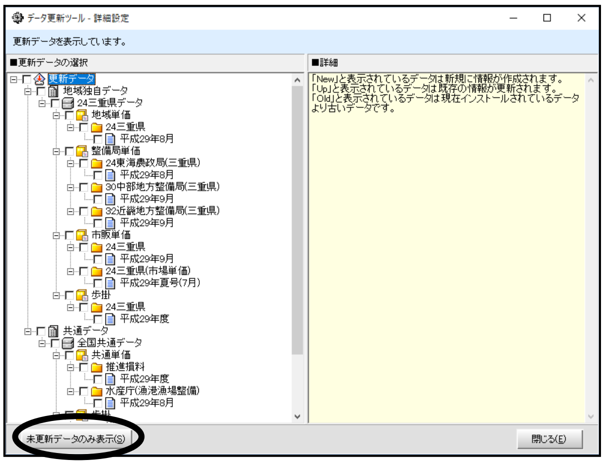
画面左下の［全データを表示］をクリックします。

右図の画面が表示されます。

よろしければ、［はい］をクリックします。



右図の、全データが表示された画面に切り替わります。



《未更新データのみ表示》

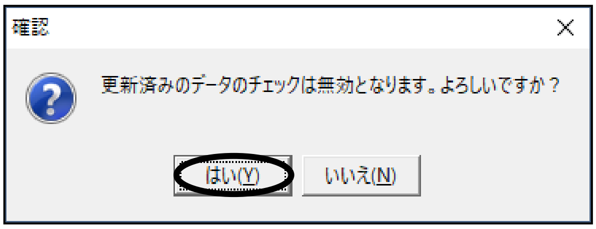
未更新データ（更新対象データ）のみの画面が表示されます。

・**表示方法**

画面左下の［未更新データのみ表示］をクリックします。

右図の画面が表示されます。

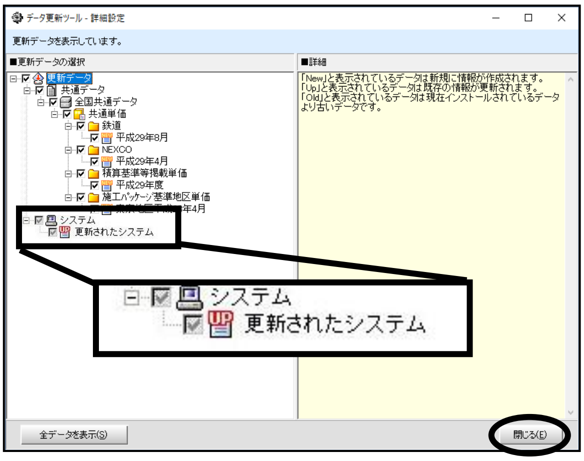
［はい］をクリックすると、未更新データのみが表示された最初の画面に戻ります。



●システム更新について

「データ更新ツールー詳細設定」画面にて、更新されたシステムデータが存在する場合、右図のように表示されます。

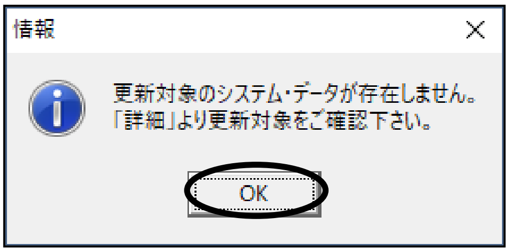
更新が必要なシステムデータは自動的にチェックが入っています。



●更新が必要なシステム・データが存在しない場合

更新が必要なシステム・データが存在しない場合、データ更新を［実行］すると、右図のメッセージが表示されます。

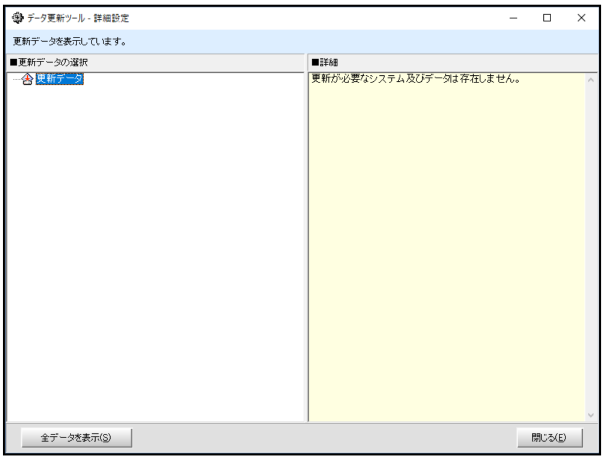
［ＯＫ］をクリックします。



「データ更新ツール」画面左下の［詳細］をクリックすると、右図の「データ更新ツールー詳細設定」画面が表示されます。

更新が必要なシステム・データが存在しない場合、画面右側の「詳細」欄に右図のメッセージが表示されます。

確認しましたら、［閉じる］をクリックします。



「データ更新ツール」画面に戻ります。
［キャンセル］をクリックし、「データ更新ツール」を終了します。

■「更新時にお客様の編集されたデータを保護する」について

「更新時にお客様の編集されたデータを保護する」にチェックを付けることで、お客様が登録・編集したデータを残しておくことができます。この項目にチェックを付けた場合、年度を追加する場合と年度を上書きする場合とで保護される内容が異なります。

追加する年度には、 NEW のマークが付きます。

上書きする年度には、 UP のマークが付きます。

また、「弊社提供の登録表についてもお客様の編集を保護する」にチェックを付けると、弊社提供の登録表についてもお客様の編集内容が保護され、最新のデータに更新されません。

※チェックの有無に関わらず、見積単価・見積歩掛・積算根拠は保護されます。

MEMO

●データの各モードについて

- **ユーザーモード**…お客様が作成したデータ（No 欄の数字が黒色のデータ）
- **ビーイングモード**…ビーイングが作成したデータ（No 欄の数字が青色のデータ）
- **代理店モード**…ビーイングおよび代理店で作成したデータ（No 欄の数字が紫色のデータ）

保護する対象内容	年度追加	年度上書き
単価登録		
フォルダ		
フォルダの作成	すべてのモードのフォルダが保護されます。	すべてのモードのフォルダが保護されます。
フォルダの名称などの訂正	ユーザーモードのフォルダのみ訂正した内容が保護されます。	すべてのモードのフォルダを訂正した内容が保護されます。
単価項目		
単価項目の新規作成	すべてのモードの単価項目が保護されます。	すべてのモードの単価項目が保護されます。
単価項目の名称などの訂正	ユーザーモードの単価項目のみ訂正した内容が保護されます。	すべてのモードの単価項目を訂正した内容が保護されます。
単価項目の金額の訂正	ユーザーモードのお客様が作成した単価項目の金額と、お客様が作成したブロック、地区の金額のみ保護されます。	すべてのモードのお客様が作成した単価項目の金額と、お客様が作成したブロック、地区の金額が保護されます。
単価表の作成	すべてのモードの単価表が保護されます。	すべてのモードの単価表が保護されます。
単価表の表内の編集	「弊社提供の登録表についてもお客様の編集を保護する」がチェックあり、チェックなしに関係なく、ユーザーモードの単価表のみ編集した内容が保護されます。	「弊社提供の登録表についてもお客様の編集を保護する」がチェックありの場合、すべてのモードの単価表を編集した内容が保護され、弊社提供の単価表が最新データに更新されません。 チェックなしの場合、ユーザーモードの単価表のみ編集した内容が保護されます。
損料登録		
フォルダ		
フォルダの作成	すべてのモードのフォルダが保護されます。	すべてのモードのフォルダが保護されます。
フォルダの名称などの訂正	ユーザーモードのフォルダのみ訂正した内容が保護されます。	すべてのモードのフォルダを訂正した内容が保護されます。

単価項目		
単価項目の新規作成	すべてのモードの単価項目が保護されます。	すべてのモードの単価項目が保護されます。
単価項目の名称などの訂正	ユーザーモードの単価項目のみ訂正した内容が保護されます。	すべてのモードの単価項目を訂正した内容が保護されます。
単価項目の金額の訂正	ユーザーモードのお客様が作成した単価項目の金額と、お客様が作成したブロック、地区の金額のみ保護されます。	すべてのモードのお客様が作成した単価項目の金額と、お客様が作成したブロック、地区の金額が保護されます。
工種登録		
フォルダ		
フォルダの作成	すべてのモードのフォルダが保護されます。	すべてのモードのフォルダが保護されます。
フォルダの名称などの訂正	ユーザーモードのフォルダのみ訂正した内容が保護されます。	すべてのモードのフォルダを訂正した内容が保護されます。
工種登録の表		
表の作成（自動積算の実行）	すべてのモードの表が保護されます。	すべてのモードの表が保護されます。
表の表内の編集	「弊社提供の登録表についてもお客様の編集を保護する」がチェックあり、チェックなしに関係なく、ユーザーモードの表のみ編集した内容が保護されます。	「弊社提供の登録表についてもお客様の編集を保護する」がチェックありの場合、すべてのモードの表を編集した内容が保護され、弊社提供の表が最新データに更新されません。 チェックなしの場合、ユーザーモードの表のみ編集した内容が保護されます。
単価管理		
ブロックの作成	すべてのモードのブロックが保護されます。	すべてのモードのブロックが保護されます。
ブロック名の変更	すべてのモードの変更したブロック名が保護されます。	すべてのモードの変更したブロック名が保護されます。
地区の作成	すべてのモードの地区が保護されます。	すべてのモードの地区が保護されます。
地区名の変更	すべてのモードの変更した地区名が保護されます。	すべてのモードの変更した地区名が保護されます。
年度名称の変更	−	すべてのモードの変更した年度名称が保護されます。